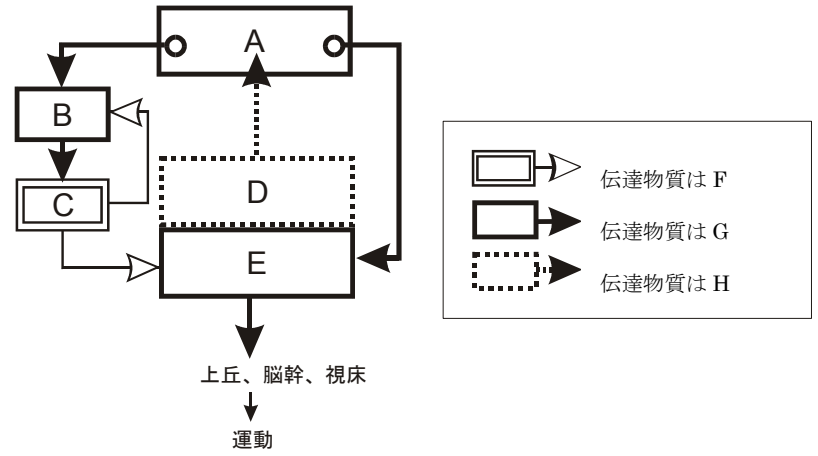


番号 _____ 名前 _____

図は、大脳基底核内の神経結合を模式的に示したものである。



1. 図中 A、C、E で示されている、神経核の名称をこたえなさい。複数存在する場合には、すべて答えなければならない。(6 点)

A	
C	
E	

2. 図中 F-H で示されている神経伝達物質の名称、及び作用を答えなさい。作用は、興奮性、抑制性、興奮と抑制の両方、のうちから一つ選ぶこと。(6 点)

	伝達物質	作用
F		
G		
H		

3. 大脳基底核内の直接経路(図中右側 A→E の経路)と間接経路(左側 A→B→C→E の経路)のバランスが崩れると、様々な運動症状があらわれる。このような病気の例を 2 つあげ、病名、機能が相対的に亢進して (高まって) いる経路、みられる運動症状を答えなさい。機能が相対的に亢進している経路については、直接経路か間接経路のうちどちらかを○で囲むこと。(各 4 点)

病名	相対的に亢進している経路	運動症状
	直接、 間接	
	直接、 間接	